

来週の「売り物記事」はこれ



2019年6月28日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

安倍政権は「弱者」の味方なのか？

夕刊特集ワイド 2日（火）

参院選を控え、安倍晋三政権は、就職氷河期世代を集中支援するとして、3年間で正規雇用30万人増を目指すことなどを盛り込んだ経済財政運営の指針「骨太の方針」を閣議決定しました。働き方改革では、「同一労働同一賃金」推進の旗も振っています。こうした政策は本来、野党が掲げるべき政策だったはず。果たして、安倍政権は社会的弱者や労働者の「味方」なのでしょうか？ その「本気度」を検証します。

「がん大国白書」胃がん

くらしナビ面 3日（水）

部位別に予防や検査、治療などの確かな情報を紹介するシリーズ「がん大国白書——患者100万人時代に備える」の第2部が始まります。今回は、2016年に新たに診断された患者数が2番目に多かった胃がんを計3回取り上げます。初回は、原因となる細菌「ヘリコバクター・ピロリ」（ピロリ菌）の検査や除菌療法が中学生にまで広がっている現状について考えます。

都市対抗野球の注目チームは？

スポーツ面 3日（水）

7月13日に東京ドームで開幕する第90回都市対抗野球大会に向けた連載「社会人野球の現在地（いま）」を7月3日付からスタートします。第4部の今回は「新たなる挑戦」をサブタイトルに過去最多の出場36チームから、注目チームを取り上げます。初回は創部12年目で悲願の初出場を決めた岡山市・シティライト岡山。従業員約250人で中古車販売の店舗を展開する同社の意気込みに迫ります。このほか宮崎県勢として初出場の宮崎市・宮崎梅田学園、連覇に挑む大阪市・大阪ガスなどを取り上げます。

マイクロチップ 広がる応用

科学面 4日（木）

犬や猫などの動物の体内に埋め込み、飼い主の情報を登録する電子機器「マイクロチップ」の装着を販売業者などに義務付ける改正動物愛護管理法が、今年の通常国会で成立しました。マイクロチップは、個体識別を目的に米国で開発された技術です。一方で、人体に埋め込んで決済手段などへの応用を目指す試みも進んでいます。マイクロチップを巡る現状をまとめました。

論点 「人生100年時代」

オピニオン面 5日（金）

政府は今年の経済財政運営の指針「骨太の方針」に、70歳まで働ける場の確保を企業の努力義務とすることを盛り込みました。「年金だけでは老後2000万円不足する」との金融庁ワーキンググループの報告書をきっかけに長寿社会への不安が広がる中、21日投開票の参院選を前に「人生100年時代」の働き方、そして第二の人生の意味を考えます。

変わる相続／遺産分割協議中も、故人の預貯金が引き出し可能に

くらしナビ面 5日（金）

約40年ぶりに相続に関する民法が改正され、7月を中心に施行されます。相続というと、今まで仲のよかった兄弟姉妹がいがみ合う“争族”になりがちです。これまでは遺産分割の協議が終わるまで故人の預貯金が引き出せませんでした。7月1日からは協議が終わる前でも、それぞれの法定相続人が一定額を引き出せるようになります。どんな制度で、具体的にはどんな手続きが必要なのでしょうか。突然来る日に備えてわかりやすく説明します。

食 ポルトガル料理／夏バテ対策に効くタコ料理はいかが？

くらしナビ面 6日（土）

サッカー王国の一つとして知られる南欧ポルトガルは、日本に負けず劣らず、米や魚の料理をよく食べる国だそうです。近著「ムイト・ボン！ポルトガルを食べる旅」（産業編集センター）などで知られるライター兼料理研究家の馬田草織さんは、同国の食とワインの大ファン。滋養によく、夏バテ対策にも効くタコをたっぷり使った炊き込みご飯を始め、夏にぴったりで、かつ手軽に作れるポルトガル料理3品を、馬田さんに紹介してもらいます。どれも冷えたワインやビールに合う逸品で、左党にもオススメです。

参院選・政策企画

科学面 7日（日）から

「4日公示・21日投開票」で行われることが決まった参院選。老後資金「2000万円」問題をはじめとする年金問題、憲法改正、10月に迫る消費税率10%への引き上げ、日米関係のあり方……。では、争点は多岐にわたります。それぞれの分野の現状はどうなっているのでしょうか。将来はどうなるのでしょうか。そして、各党は何を訴えるのでしょうか。「数字」に着目しながら、構造的な仕組みや問題点をひもときます。

※ 場合によっては内容が変更することがあります。